

市民サービス向上へ

包括連携協定を締結

市と愛院大、歯科分野も

市と愛知学院大は二十二日、互いのノウハウを生かして市民サービスの向上を目指す包括連携協定を結んだ。同大はまちづくりや防災のほか、県内で唯一、歯学部がある大学として、歯科口腔保健の分野でも協力



協定書を取り交わした引田学長(左)と河村市長(右)＝市役所で

する。

市が実施する無料の歯周疾患検診について、歯学部
の学生たちがPRリーフレットを作成。受診率の低い若年層に対して、専門知識を持つ同世代の立場から呼びかける。小学生を対象とした土曜学習プログラムのほか、名城公園キャンパスがある北区での地域活動にも協力する。

同大の引田弘道学長は、締結式で「歯科医療など、市民のため、一層協力したい」とあいさつ。河村たかし市長と協定書を取り交わした。同席した市歯科医師会の都島誠一会長も「学生さんの協力を得て、若者の検診受診率向上に期待している」と話した。